

1 普通会計のバランスシート

現行の予算制度は、単年度の「現金主義・単式簿記」方式による「フロー情報」であるため、これまでに蓄積してきた資産の構成や、将来負担しなければならない負債などの「ストック情報」はわかりにくいものになっています。そこで、企業会計的手法を活用し、財政状況をストック面から明らかにするため、国が示す基準に準拠して、平成10年度決算分からバランスシートを作成しています。

(1) 試算結果について (詳細については、2頁参照)

資産合計 2兆 2,026億円	負債合計 9,356億円 (資産合計の42.5%)
	正味資産 1兆 2,670億円 (資産合計の57.5%)

資産合計(2兆2,026億円)の内訳は、

- ・建物や土地などの有形固定資産が1兆9,624億円(89.1%)、うち土地が1兆489億円を占めています。
- ・投資、貸付金などの投資等が2,104億円(9.6%)、
- ・現金、預金などの流動資産が298億円(1.3%)となっています。

負債合計(9,356億円)の内訳は、

- ・地方債が7,763億円(83.0%)、
- ・物件の購入等にかかる債務負担行為が73億円(0.8%)、
- ・職員が全員普通退職したと想定した場合の退職給与引当金が650億円(6.9%)、
- ・翌年度の地方債償還予定額の流動負債が870億円(9.3%)となっています。

正味資産(1兆2,670億円)の内訳は、

- ・国庫支出金が2,416億円(19.1%)、
- ・県支出金が233億円(1.8%)、
- ・一般財源等が1兆21億円(79.1%)となっています。

(2) 市民1人あたりのバランスシート (詳細については、3頁参照)

項目	平成19年度 A	平成18年度 B	A-B
資産合計	164万5千円	165万2千円	7千円
負債合計	69万9千円	72万円	2万1千円
正味資産	94万6千円	93万2千円	1万4千円

平成20年3月31日現在の住民基本台帳人口(1,339,006人)に拠る。
(平成19年3月31日の住民基本台帳人口は、1,316,006人)

市民1人あたりでは、資産合計は前年度比7千円減の164万5千円、負債合計は2万1千円減の69万9千円、正味資産は1万4千円増の94万6千円となっています。

川崎市バランスシート(普通会計)
(平成20年3月31日現在)

(単位:千円)

借 方	貸 方
【資産の部】	【負債の部】
1. 有形固定資産	1. 固定負債
(1) 総務費 100,770,629	(1) 地方債 776,339,716
(2) 民生費 41,835,052	(2) 債務負担行為
(3) 衛生費 160,295,584	物件の購入等 7,322,578
(4) 労働費 2,384,945	債務負担行為計 7,322,578
(5) 農林水産業費 458,480	(3) 退職給与引当金 64,941,928
(6) 商工費 27,613,387	固定負債合計 848,604,222
(7) 土木費 1,209,790,420	2. 流動負債
(8) 消防費 26,577,322	翌年度償還予定額 86,979,082
(9) 教育費 392,713,626	流動負債合計 86,979,082
(10) その他 6,094	負債合計 935,583,304
計 1,962,445,539	【正味資産の部】
(うち土地 1,048,860,877)	1. 国庫支出金 241,612,201
有形固定資産合計 1,962,445,539	2. 県支出金 23,298,300
2. 投資等	3. 一般財源等 1,002,099,130
(1) 投資及び出資金 132,495,970	正味資産合計 1,267,009,631
(2) 貸付金 41,867,790	
(3) 基金	
特定目的基金 26,122,179	
土地開発基金 9,882,086	
基金計 36,004,265	
投資等合計 210,368,025	
3. 流動資産	
(1) 現金・預金	
財政調整基金 1,698,300	
減債基金 5,324,767	
歳計現金 7,744,153	
現金・預金計 14,767,220	
(2) 未収金	
地方税 10,053,103	
その他 4,959,048	
未収金計 15,012,151	
流動資産合計 29,779,371	
資産合計 2,202,592,935	負債・正味資産合計 2,202,592,935

債務負担行為に関する情報

物件の購入等に係るもの

69,667,026 千円

債務保証及び損失補償に係るもの

6,902,135,091 千円

利子補給等に係るもの

0 千円

(注)退職給与引当金の算定は、平均値により算出した。

市民1人あたりのバランスシート

(単位:千円)

借 方			貸 方		
[資産の部]	H19	H18	[負債の部]	H19	H18
1 有形固定資産			1 固定負債		
(1) 総務費	75	78	(1) 地方債	580	617
(2) 民生費	31	32	(2) 債務負担行為 物件の購入等	5	5
(3) 衛生費	120	125	(3) 退職給与引当金	49	54
(4) 労働費	2	2	固定負債合計	634	676
(5) 農林水産業費	0	0	2 流動負債		
(6) 商工費	21	21	翌年度償還予定額	65	44
(7) 土木費	904	907	流動負債合計	65	44
(8) 消防費	20	20	負債合計	699	720
(9) 教育費	293	294			
(10) その他	0	0			
計	1,466	1,479	[正味資産の部]		
(うち土地)	(783)	(786)			
有形固定資産合計	1,466	1,479	1 国庫支出金	180	180
2 投資等			2 県支出金	17	18
(1) 投資及び出資金	99	98	3 一般財源等	749	734
(2) 貸付金	31	27	正味資産合計	946	932
(3) 基金					
特定目的基金	20	20			
土地開発基金	7	7	負債・正味資産合計		
基金計	27	27			
投資等合計	157	152	1,645	1,652	1,652
3 流動資産					
(1) 現金・預金					
財政調整基金	1	1			
減債基金	4	4			
歳計現金	6	5			
現金・預金計	11	10			
(2) 未収金					
地方税	7	7			
その他	4	4			
未収金計	11	11			
流動資産合計	22	21			
資産合計	1,645	1,652			

〔参考〕

1 前年度の試算結果との比較

資産合計は、前年度比164億円の増、負債合計は110億円の減、正味資産は392億円の増となっています。

また、資産合計に占める正味資産の割合は、57.5%（前年度は56.5%）となっています。

項 目	平成19年度 A	平成18年度 B	A-B
資 産 合 計	2兆2,026 億円	2兆1,744 億円	282億円
有形固定資産	1兆 9,624 億円	1兆 9,460 億円	164億円
投 資 等	2,104 億円	2,008 億円	96億円
流 動 資 産	298 億円	276 億円	22億円
負 債 合 計	9,356 億円 (資産合計に占める割合 42.5%)	9,466 億円 (資産合計に占める割合 43.5%)	110億円
固 定 負 債	8,486 億円	8,887 億円	401億円
流 動 負 債	870 億円	579 億円	291億円
正 味 資 産	1兆 2,670 億円 (資産合計に占める割合 57.5%)	1兆 2,278 億円 (資産合計に占める割合 56.5%)	392億円
国庫支出金	2,416 億円	2,373 億円	43億円
県支出金	233 億円	238 億円	5億円
一般財源等	1兆 21 億円	9,667 億円	354億円

2 有形固定資産の形成における世代間負担率

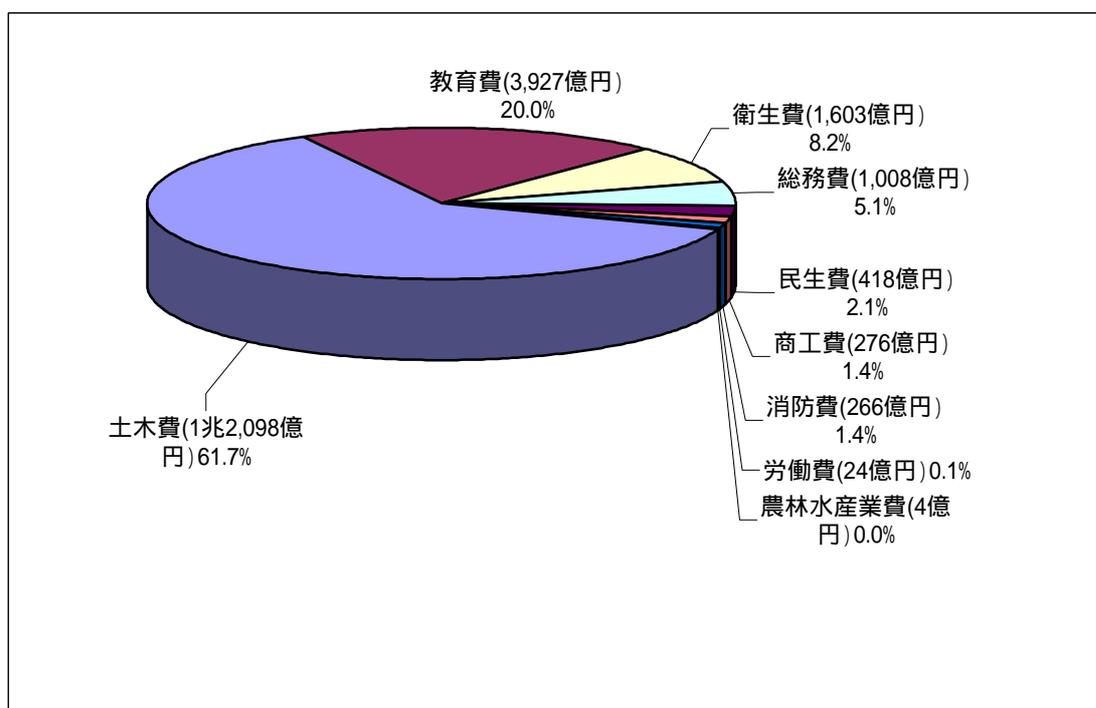
本市がこれまでに蓄積してきた有形固定資産に対する正味資産の割合をみることで、これまでの世代によって既に負担された割合がわかります。

平成19年度の割合は64.6%と、前年度と比較して1.5ポイントの増となっています。

	平成19年度	平成18年度
有形固定資産 A	1兆 9,624 億円	1兆 9,460 億円
正味資産 B	1兆 2,670 億円	1兆 2,278 億円
B ÷ A	64.6%	63.1%

3 普通会計上の区分別の有形固定資産

有形固定資産(1兆9,624億円)を普通会計上の区分別に見ると、次のようになります。



[説明]

土木費: 橋りょう、道路、公園、街路及び住宅の整備、市街地再開発、区画整理など
 教育費: 学校(小・中・高)、社会教育施設、短期大学、体育館・スポーツセンターの整備など
 衛生費: ごみ焼却施設、リサイクル施設、保健衛生施設の整備など
 総務費: 本庁舎、区役所庁舎、市民利用施設の整備など
 民生費: 保育園の社会福祉施設、高齢者福祉施設の整備など

道路や公園等の整備を行う土木費が全体の約6割、次いで、学校やスポーツ施設等の整備を行う教育費が約2割を占めています。

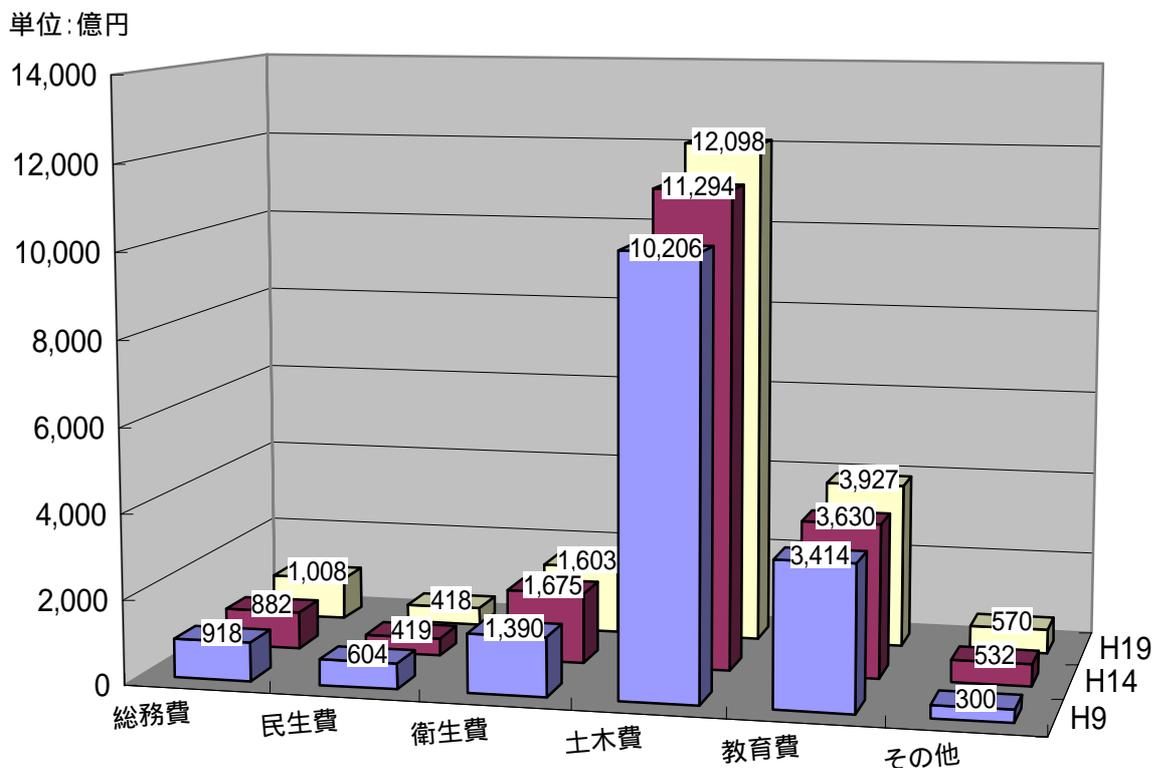
4 行政目的別の有形固定資産

有形固定資産を川崎市の行政目的別に見ると、次のようになります。
 (単位: 億円・%)

行政目的	平成19年度 A		平成18年度 B		A-B (前年度比較)
	金額	構成比	金額	構成比	
保健・福祉・医療の充実	791	4.0	797	4.1	6
環境・リサイクル	3,060	15.6	3,035	15.6	25
地域経済の発展	281	1.4	285	1.5	4
道路・河川等の整備・安全なまちづくり	6,053	30.8	5,975	30.7	78
港湾の整備	1,522	7.8	1,523	7.8	1
計画的なまちづくり	2,996	15.3	2,968	15.3	28
学校教育・生涯学習	3,890	19.8	3,824	19.7	66
行政運営	505	2.6	516	2.7	11
共生と参加のまちづくり	526	2.7	537	2.9	11

5 有形固定資産の経年比較 (H19年度、H14年度、H9年度との比較)

(1) 総額の比較



(単位: 億円)

区分	平成9年度 A	平成14年度 B	平成19年度 C	増減額 B-A	増減額 C-B
総務費	918	882	1,008	36	126
民生費	604	419	418	185	1
衛生費	1,390	1,675	1,603	285	72
土木費	10,206	11,294	12,098	1,088	804
教育費	3,414	3,630	3,927	216	297
その他	300	532	570	232	38
計	16,832	18,432	19,624	1,600	1,192

平成9年度から平成14年度までの5年間の増加額は1,600億円であるのに対して、平成14年度から平成19年度までの5年間の増加額は1,192億円と、増加額が減少しています。これは、行財政改革の取組みにより投資的経費を抑制してきたことなどによります。

なお、民生費において平成9年度と平成14年度を比較して減少しているのは、平成12年度に介護保険事業特別会計が設置されたことに伴い、有形固定資産を移行させたことによります。

(2) 構成比の比較

(単位:%)

区 分	平成9年度 A	平成14年度 B	平成19年度 C	増減 B-A	増減 C-B
総 務 費	5.4	4.8	5.1	0.6	0.3
民 生 費	3.6	2.2	2.1	1.4	0.1
衛 生 費	8.3	9.1	8.2	0.8	0.9
土 木 費	60.6	61.3	61.7	0.7	0.4
教 育 費	20.3	19.7	20.0	0.6	0.3
そ の 他	1.8	2.9	2.9	1.1	0.0
計	100.0	100.0	100.0		

10年間の構成比を比較すると、土木費の構成比が増加し、民生費は、新規の福祉施設について主に民間による整備を進めているため1.5ポイント低くなり、教育費は平成9年度以前に教育施設の整備が進んでいたことから、0.3ポイント低くなっています。

6 土地の保有状況

有形固定資産のうち、土地(1兆489億円)の保有状況は、次のとおりです。

(単位:億円)

区 分	平成19年度 A	平成18年度 B	A-B
道路橋りょう	1,023	1,001	22
街 路	2,562	2,510	52
公 営 住 宅	221	221	0
小 学 校	531	531	0
中 学 校	255	255	0
そ の 他	5,897	5,832	65
計	10,489	10,350	139

街路用地が道路改良事業用地の買戻しにより52億円の増、その他が早野聖地公園用地や生田緑地用地などの取得により65億円の増となっています。

7 他都市との比較

他の指定都市とのバランスシートの比較は、次のとおりです。

なお、現段階では平成19年度分を公表していない都市もあるため、平成18年度の数値で比較しています。

他都市平均は、本市を含まない平均です。

(1) バランスシート総額の比較

(単位:億円)

区 分	川崎市 (H19)	川崎市 (H18)	他都市平均 (H18)	札幌市 (H18)
資 産	22,026	21,744	28,067	31,690
負 債	9,356	9,466	11,321	11,240
正味資産	12,670	12,278	16,746	20,450
負債 / 資産	42.5%	43.5%	40.3%	35.5%

区 分	仙台市 (H18)	さいたま市 (H18)	千葉市 (H18)	横浜市 (H18)
資 産	18,144	14,570	13,725	63,540
負 債	7,806	4,336	7,777	25,373
正味資産	10,338	10,234	5,948	38,167
負債 / 資産	43.0%	29.8%	56.7%	39.9%

区 分	新潟市 (H18)	静岡市 (H18)	浜松市 (H18)	名古屋市 (H18)
資 産	9,367	10,554	13,277	40,532
負 債	4,095	3,826	3,683	18,901
正味資産	5,272	6,728	9,594	21,631
負債 / 資産	43.7%	36.3%	27.7%	46.6%

区 分	京都市 (H18)	大阪市 (H18)	堺市 (H18)	神戸市 (H18)
資 産	24,037	77,553	9,917	42,882
負 債	11,710	31,414	3,313	14,685
正味資産	12,327	46,139	6,604	28,197
負債 / 資産	48.7%	40.5%	33.4%	34.2%

区 分	広島市 (H18)	北九州市 (H18)	福岡市 (H18)
資 産	21,259	25,443	32,582
負 債	9,538	9,404	14,034
正味資産	11,721	16,039	18,548
負債 / 資産	44.9%	37.0%	43.1%

総額での比較をみると、川崎市は資産の額、負債の額及び正味資産の額で、いずれも多いほうから9番目となっています。

また、資産に対する負債の割合では、高い方から6番目に位置し、他都市平均を上回っています。

(2) 市民一人あたりの比較

(単位:千円)

区 分	川崎市 (H19)	川崎市 (H18)	他都市平均 (H18)	札幌市 (H18)
資 産	1,645	1,652	1,871	1,691
負 債	699	720	749	600
正味資産	946	932	1,122	1,091
負債 / 資産	42.5%	43.5%	40.0%	35.5%

区 分	仙台市 (H18)	さいたま市 (H18)	千葉市 (H18)	横浜市 (H18)
資 産	1,812	1,236	1,508	1,783
負 債	779	368	854	712
正味資産	1,033	868	654	1,071
負債 / 資産	43.0%	29.8%	56.7%	39.9%

区 分	新潟市 (H18)	静岡市 (H18)	浜松市 (H18)	名古屋市 (H18)
資 産	1,165	1,483	1,685	1,881
負 債	509	537	467	877
正味資産	656	946	1,218	1,004
負債 / 資産	43.7%	36.3%	27.7%	46.6%

区 分	京都市 (H18)	大阪市 (H18)	堺市 (H18)	神戸市 (H18)
資 産	1,730	3,089	1,192	2,853
負 債	843	1,251	398	977
正味資産	887	1,838	794	1,876
負債 / 資産	48.7%	40.5%	33.4%	34.2%

区 分	広島市 (H18)	北九州市 (H18)	福岡市 (H18)
資 産	1,861	2,578	2,389
負 債	835	953	1,029
正味資産	1,026	1,625	1,360
負債 / 資産	44.9%	37.0%	43.1%

市民1人あたりの比較でみると、川崎市は資産の額及び正味資産の額では多いほうから12番目、負債の額では10番目となっています。